

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第9回定例会(平成28年12月定例会)

| | | | |
|--------|---|----------|---|
| 第8回臨時会 | 2 | 一般質問(4人) | 4 |
| 第9回定例会 | 2 | 編集後記 | 8 |

議会広報
平成29年2月
第22号

寒さに負けない地域のあたたかさ



門松(倉石又重北向地区「萬世橋」にて)

第8回 平成28年11月 臨時会

11月1日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

| | | | |
|---------|----|----|----|
| 議決件数 1件 | | | |
| 原案可決 | 同意 | 承認 | 認定 |
| 1件 | 0件 | 0件 | 0件 |



太田 忍 選手



クリスタルトロフィー

五戸町町民栄誉賞

審議の結果
全員賛成で可決

町民に希望と活力を与える顕著な功績があり、広く町民が敬愛する者に対して、町民栄誉賞を贈呈し、その榮譽をたたえることを目的とした条例

条例の制定 1件

●五戸町町民栄誉賞表彰条例の制定

【内容】

町長提出案件

第9回 平成28年12月 定例会

12月8日から13日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

| | | | |
|-------------------|----|----|----|
| 議決件数 26件(うち議案 1件) | | | |
| 原案可決 | 同意 | 承認 | 認定 |
| 25件 | 1件 | 0件 | 0件 |

町長提出案件

規約の変更 1件

●青森県市町村総合事務組合規約の変更

【内容】

共同処理する事務のうち市町村税等の滞納整理に関する事務にむつ市を加える

審議の結果

全員賛成で可決

事業の施行 1件

●土地改良事業の施行

【内容】

被災した農業用施設の災害復旧

審議の結果

全員賛成で可決

条例の制定 2件

●五戸町農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定

【内容】

五戸町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める

●五戸町農用地保全条例の制定

【内容】

秩序ある土地利用調整を推進し、魅力ある農村づくりに資するとともに町の振興を図る

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 10件

●五戸町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

【内容】

農地利用最適化推進委員の新設などによる所要の改正

●五戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正

【内容】

議会議員の期末手当の支給割合を改める

●五戸町長等の給与に関する条例の一部を改正

【内容】

町長等の期末手当の支給割合を改める

●五戸町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正

【内容】

教育長の期末手当の支給割合を改める

●五戸町職員の給与に関する条例の一部を改正

【内容】

職員の給料表及び手当の支給割合と要件を改める

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部を改正

【内容】

特別参事の期末手当の支給割合を改める

●五戸町税条例の一部を改正する条例及び五戸町町税条例の一部を改正

改正

【内容】

・地方税法等の一部改正に伴う所要の改正

補正予算 10件

●一般会計補正予算(第5号)

補正額(増額)

2億6187万円

・予算総額(補正後)

96億4280万2千円

【主な内容】

・臨時福祉給付金

7500万円

・国民健康保険特別会計

繰出金

7851万円

・町道維持・舗装修繕工事費

2610万円

・五戸消防署整備工事費

2692万1千円

・災害復旧費

2030万6千円

●国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額(減額)

△2410万7千円

・予算総額(補正後)

27億2139万4千円

【主な内容】

・一般被保険者療養給付費等

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第2号)

補正額(増額)

16万6千円

・予算総額(補正後)

1億1602万7千円

【主な内容】

・消費税等

●ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)

補正額(増額)

231万9千円

・予算総額(補正後)

3058万3千円

【主な内容】

・基金積立金

29億2150万7千円

●病院事業会計補正予算(第2号)

収益的収入

4万3千円を減額し

29億2150万7千円

・収益的支出

4万2千円を減額し

29億1808万6千円

・資本的支出

機器備品費188万9千円を追加し4億4569万3千円

議会提出案件

意見書案 1件

●地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について

・内閣総理大臣他関係省庁あて

審議の結果

全員賛成で可決

町長提出案件追加

人事 1件

●教育委員の任命

◎柿本孝志氏 (54歳)

大字倉石中市字中市

審議の結果

全員賛成で同意

審議の結果

全員賛成で可決

・予算総額(補正後)

4億519万5千円

【主な内容】

・水道施設等移設補償費等

●下水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正額(減額)

△326万円

・予算総額(補正後)

4億2183万3千円

【主な内容】

・療養給付費定率市町村負担金等

142万7千円

・予算総額(補正後)

4億2183万3千円

補正予算 10件

●一般会計補正予算(第5号)

補正額(増額)

2億6187万円

・予算総額(補正後)

96億4280万2千円

【主な内容】

・臨時福祉給付金

7500万円

・国民健康保険特別会計

繰出金

7851万円

・町道維持・舗装修繕工事費

2610万円

・五戸消防署整備工事費

2692万1千円

・災害復旧費

2030万6千円

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

補正額(増額)

142万7千円

・予算総額(補正後)

4億2183万3千円

【主な内容】

・療養給付費定率市町村負担金等

142万7千円

・予算総額(補正後)

4億2183万3千円

審議の結果
全員賛成で可決

12月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



鈴木 隆也 議員

質問

歳入の多くを占める地方交付税が減額されることが見込まれる中で、来年度当初予算は増額になるが、その不足分はどうするのか。

答二浦町長

財政調整基金などの町の基金を取り崩して対応する。

質問

継続して行われる事業の予算と進捗状況は。

答二浦町長

総務課関係、◎五戸消防署の移転新築工事8億8千万円。

地方創生推進室関係、◎まちの駅整備の基本構想の策定。◎子育てサポート入居費助成40世帯分960万円。

質問

平成29年度の主な新規事業は何か。

答二浦町長

◎青年就労ステップアップ支援金給付事業。◎公共下水道基本計画及び全体計画の見直し調査業務など。

質問

公共下水道基本計画等を見直す考えがあるようだが、一部市町村で実施している市町村設置型合併浄化槽の導入まで視野に入れているか。

答山下建設課長

学識経験者などから成る下水道事業の審議会を立ち上げ、その中で、未整備地域の合併浄化槽設置費用の助成増額や市町村設置型合併浄化槽のことなどを議論していく予定。

◆平成29年度予算編成の基本方針は

町長 少子高齢化対策と魅力ある地域づくりの施策を展開する

質問

政策の重点事項は何か。

答二浦町長

移住・定住促進対策、少子化対策、産業・雇用対策、地域づくりなどでの少子高齢化対応である。

質問

予算規模はどれくらいになるか。

答二浦町長

前年度当初予算よりもやや増額となる見通しである。

質問

中山間地域総合整備事業を適用し、上水道整備は可能か。

答畑山農林課長

可能ではあるが事業適用には、戸数が10戸以上ある地域でなければならぬ等の制限がある。

質問

青年就労ステップアップ支援金給付事業とはどのようなものか。

答畑山農林課長

国の支援制度の条件では適用外となる方々に、町独自で3年間に渡り給付金を支給し支援するもの。



一般質問



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

◆地場産業の育成をどうする

町長 努力していく

質問

人口減少の一因は地場産業が大きく成長しなかつたことと考えるが、町ではどのように育成していくつもりか。

質問

所得を倍にすることや、子供を大学まで行かせる経済力を持たせることが、人口減少を食い止める術と考えると、圏域との連携だけでは不十分と考えるが如何か。

答三浦町長

八戸圏域と連携して育成していく。

答三浦町長

検討し努力していく。

質問

インターネットで、世界に情報発信していくには、英語はもちろんフランス語、ドイツ語、中国語などに訳していく必要があると考える。

今後は地場産業育成の

◆法令遵守を徹底すべき

町長 今後も指導していく

質問

「役場職員等が個人情報 を漏らしている」という町民の声が3件程あった。しっかり守秘義務を守るよう指導して頂きたいが如何か。

要望

何が個人情報か認識していない人がいるようだ。仲間同志であっても、何気ない会話の中で職務上知り得た情報は話してはいけないと考える。

答三浦町長

法令遵守については、今までもしっかり指導してきた。今後も今までのように指導していく。

中でインターネットをどう活用するかで変わってくるかと考えるが如何か。

答三浦町長

内容等、今後検討したい。

◆コミュニティバスの運行本数を増やせないか

町長 増やす方向で協議していく

質問

川内中学校で行われた五桜会の出前授業で、生徒より八戸駅から五戸高校までのコミュニティバスを運行してほしい、川内地区のコミュニティバスの運行本数を増やしてほしいと言われ、運転免許を返した高齢者の移動手段を確保する意味でも必要ではないかと考えるが如何か。

答三浦町長

八戸駅から五戸高校までのコミュニティバスの運行は、別件でも請願書が提出されており、扇田経由は確保する。高館経由や川内地区の増便については、今後検討したい。



「五桜会」は、議員自らのスキルアップのため、町政等の勉強をする会で、有志議員5人で組織されています。

なお、他の議員も出席できます。



かわさき しちひろ
川崎 七洋 議員

◆町独自の不妊治療助成制度は

町長 周辺自治体の調査を進めながら検討する

質問

不妊治療は保険がきかないため、治療を受けるご夫婦は、1回40〜50万円という高額の治療費がかかり、金銭的にも精神的にも大変負担が大きいものだが、町で助成する制度はないのか。

答三浦町長

県で特定不妊治療費助成事業を実施しており、助成額は治療内容に応じて初回は30万円又は7万5千円、以後15万円又は7万5千円が上限となっている。

なお、昨年度の実績は301件で、五戸町の申請件数は7件である。

質問

県の助成を受けても、なお大変な自己負担額である。現在、3組に1組の夫婦が不妊に悩んでおり、6組に1組は不妊治療を受けているといわれている。この状況に対し、独自に助成金を出す自治体が近年増加していると聞かすが、町独自の考えはないか。



答三浦町長

県内では11市町村で上乗せ支給を実施している。当町でも他の市町村の助成状況の調査や、財源確保について検討していく。

質問

上乗せ支給を実施している自治体の実績などは調べているか。

答鈴木福祉保健課長

三八管内で実施している自治体は無い。六戸町では今年度から始め、実績はまだ0件と聞いている。

なお、実施となると予算規模は現在の申請件数を元に考えると、80〜100万円前後になると予想される。

質問

三八管内でまだないのであれば、最初に実施すれば移住してくる人もいられるかもしれない。

町の財政規模から考えると予算規模はそれほど大きくないと思うが、町長はどのように進めていこうと考えているか。

答三浦町長

実施した場合の申請件数の増加見込みなどを想定しながら考えていきたい。

◆産業と文化まつりの会場が分散 されている理由は

町長 適地がない

質問

このまつりの成功に責任を持つ課はどこか。

答三浦町長

五戸小での開催は、授業に影響が出ることや運搬車両の出入りで危険なこと、更には不審者が入ってくる可能性もあるということ、安全面や管理の面でかなり難しいと考えている。みらいパークもスペース的に現実的ではないと考えている。まちの駅については現在構想中のため回答は差し控える。

質問

産業まつりは企画振興課、文化まつりは教育課、農産物品評会は農林課が担当し、各課それぞれが責任を持つが、まつりの総合企画に対する責任は企画振興課となる。

公民館とドームが遠く来場者にとって不便で、仮に五戸小、みらいパーク、今後できるまちの駅を会場とした場合、商店街の振興という効果も期待できると思うが、開催地変更の予定はないか。

同一会場で開催するのが理想だが、適地がなくやむを得なく分散開催とされている。今後も困難と考えているので、利便性向上のためシャトルバスの増便などを検討していきたい。

一般質問



豊田 孝夫 議員

◆防災計画の見直しは

町長 平成29年度中に策定し
平成30年度には配布したい

質問

防災計画の見直しの進捗状況と、地域住民に周知出来るのはいつになるのか。また、見直しに向けてどのような組織編成をしているのか。

答三浦町長

見直し作業に入っているが、担当者任せの感は否めず時間がかかっている。総務課総務班を主体に平成29年度中に策定し、平成30年度中には完成させ、その後ダイジェスト版を町内に配布したい。

質問

防災無線が聞き取りにくいとの声があるが、その対策は。また、災害情報を早期に知らせるために、災害時に強制的に五戸チャンネルが映るなどの方法は取れないか。

答三浦町長

現在の住宅は機密性が高く、防災無線が聞き取りにくくなっているため、五戸チャンネルの防災情報で確認するなど情報収集に努めて頂きたい。また、テレビの自動起動や、個別受信機、防災ラジオ等の配置については、費用とメンテナンスの面から課題が多く、今現在のシステムでは無理である。

質問

役場職員に防災士の資格を取得させることは出来ないものか。

答三浦町長

担当者を研修等に参加させることは可能だが、人事異動等で配置が換わるため難がある。職員も

◆児童生徒の登下校時の安全と安心を守るための対策は

教育長 安全について周知徹底を図っている

質問

通学路の危険箇所の把握と安全対策は。

質問

児童生徒が、誘拐等の犯罪に巻き込まれないための安全指導、交通事故防止、防犯対策など五戸警察署との連携は。

答高橋教育長

全国各地で事故発生があることから、文科省、国土交通省、警察庁など関係諸団体からの協力を仰ぎ、通学路の危険箇所の把握に努めている。また、平成27年2月には五戸町通学路交通安全プログラムを策定し、歩道のカラー化などを行っている。

答高橋教育長

校長会では、県内で事故が発生した場合は、直ちに注意喚起を促し指導を行う態勢が取れるようにしている。

五戸警察署との連携は、学区巡視、児童生徒に対する声かけなどの不審者対応など、五戸町通学路

含め、消防団、自治会、民間企業に勤める方など防災士資格を取れるような制度を視野に入れて検討したい。

交通安全プログラム、学警連などを通じ連携を図っている。
なお、五戸中学校では、ジャンプが組織され、非行防止活動や防犯活動を行っている。

「JUMP」は、中学生・高校生ら少年自らが、お互いに非行防止について呼びかけ、非行防止の輪が広がることを目的に結成されます。

八戸圏域定住自立圏の形成に関する勉強会

平成28年10月21日、新郷村にて八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟主催による勉強会が開催され、五戸町議会議員18人が参加しました。

視察

- ・ 間木ノ平グリーンファーム
ミルク&ハム工房
- ・ 新郷温泉館

講演

「連携中枢都市圏構想について」

総務省自治行政局市町村課長
小川 康則 氏



三戸郡町村議会議員研修会

平成28年11月18日、階上町にて三戸郡町村議会議員研修会が開催され、五戸町議会議員17人が参加しました。

内容

「三戸郡選出県議会議員による県政報告並びに意見交換会」

県議会議員 北 紀一 氏
県議会議員 夏堀 浩一 氏



県議会議員との意見交換会では、県政に対する質疑が行われ、数多くの意見が出されました。

出前授業を実施

平成28年11月25日、川内中学校にて出前授業を実施し、五戸町議会議員9人が参加しました。

議員は6グループに分かれ、生徒から出された質問に答えながら、率直な意見に耳を傾け、五戸町の将来を共に考えました。大変有意義な授業となりました。



編集後記

「大好きな五戸町を守りたい」これは、昨年12月17日付けのデリー東北「こだま欄」に掲載された投書のタイトルである。当町在住の若干16歳の若者が、五戸町を愛する思いの丈を綴った内容は、けなげであり、頼もしくもあり、私の心を激しく揺さぶった。と同時に、両頬をはたかれ、目が覚める感覚を覚えた。徒らに年をとり、既成の概念を頭に詰め込み賢くなった錯覚に陥り、可能なことと不可能なことの線引きを、いとも簡単に行っている自分が愚かに思えた。

新たな年を迎え強く思う。未来の五戸町を形作るのは、今生きる我々五戸町民でしかない。自民も非自民も、町長派も反町長派も関係ない。議員として背筋を伸ばし、襟を正し、生きていく。

委員 鈴木 隆也

広報常任委員会

委員長 高山 浩司
副委員長 豊田 孝夫
委員 川崎 七洋
委員 鈴木 隆也
委員 大久保 均
委員 若宮 佳一
委員 三浦 俊哉
発行責任者
長和田 寛司

次回の広報は、平成29年5月発行予定です。

議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月9日開催予定です。
詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」
五戸町ホームページでもお知らせします。